

第3章 基本理念・基本目標

第3章では、本市の住まい・まちを取りまく課題を解決するための方向性を整理し、そこから基本理念・基本目標を設定します。



山んねきと市街地

1. 計画の方向性

第2章で整理した住まいを取り巻く課題から、本計画の方向性を検討します。

本計画の方向性

- 魅力的なまちを形成し、本市のイメージアップを図ります
- 住環境の改善・向上を図り、誰もが住みたい・住み続けたいと思えるまちを形成します
- 住宅規模や設備などを整え、質の高い住宅を供給することで、様々な世帯の生活を豊かにします
- 公営住宅のみにとらわれない、多様な住宅セーフティネットを展開します
- 地域を主体としたまちづくりの気運を醸成します

2. 基本理念

計画の方向性を踏まえ、本計画の基本理念は以下のとおりとします。

**みんなつながる、魅力あふれる、安全・安心のまち
住んでええとこ 八尾**



3. 基本目標

基本理念の実現のため、以下の基本目標を設定します。

基本目標1 安全・安心な住まい・まちの形成

耐震性の向上や住宅密集の改善、犯罪被害に遭いにくい住まい・まちづくりの推進により「安全・安心な住まい・まち」を形成することで、「住んでええとこ 八尾」をめざします。

基本目標2 快適に暮らせる住まい・まちの形成

住宅の質・消費性能の向上や道路・公園の充実、コミュニティの活性化などにより「快適に暮らせる住まい・まち」を形成することで、「住んでええとこ 八尾」をめざします。

基本目標3 様々なニーズに沿った魅力あふれる住まい・まちの形成

子育て世帯・高齢者・障がい者等の居住ニーズやまちなかでの居住ニーズ、郊外での居住ニーズなど、様々な居住ニーズに対応できて、さらに、八尾らしい景観・まちなみをもつ「魅力あふれる住まい・まち」を形成することで、「住んでええとこ 八尾」をめざします。

基本目標4 公民連携による住宅セーフティネットの形成

「公民連携による住宅セーフティネット」の形成により幅広い層への支援や豊富な支援方法を展開することで、「住んでええとこ 八尾」をめざします。

基本目標5 様々な主体の協働により”みんなでつくる”住まい・まち

行政だけでなく、市民・NPO・民間事業者等、様々な主体が協働することで「住んでええとこ 八尾」の住まい・まちづくりをめざします。

